

生徒事例 ①

Personal Information

性別：女性
 居住地：神奈川県横浜市
 学年：高校2年
 在籍校：私立・中高一貫・女子校・中堅
 部活：陸上部とダンス部
 文or理：文系選択（理科は物理を選択）
 志望校：R大学かM大学
 （K大学への憧れあり）
 得意科目：数学
 苦手科目：特になし
 偏差値：52.5
 家族構成：父（会社員）、母（会社員）、
 妹（中学3年）

Story

部活と勉強に充実している高校生活。ただ、将来やりたいことがまだ見当たらず、進路希望はいつもそのときの気分で書いている。しかし、まわりが徐々にやりたいことを見つけ進路を決めていっているように見えて、不安を覚えるようになってきた。父親は1つの会社でずっと働きストレスが溜まっていそう。母親は英語とプレゼン能力を武器に転職を繰り返している。ただ、両親ともに大学時代の楽しい思い出を聞かせてくれ、二人が通った私立大学には魅力を感じているし、両親からも薦められている。



ミライの選択

受講前

SECTION ② で作成した表

		判断基準				総合点
		家からの距離	入試難易度			
重み付け		★★★★★	★★★★☆☆			
選択肢	R大	1 5	3 9			14
	M大	3 15	5 15			30
	K大	5 25	1 3			28

ミライの選択

受講後

SECTION ⑤⑥ で作成した表

		判断基準				総合点
		手に職がつくか	いきたい大学が強い	家からの距離	入試難易度	
重み付け		★★★★★	★★★★☆☆	★★☆☆☆	★★★★☆	
選択肢	心理学	2 10	3 9	5 10	3 12	41
	国際関係学	4 20	4 12	1 2	4 16	50
	法学	3 15	4 12	4 8	2 8	43
	総合政策	1 5	3 9	5 10	4 16	40

MEMO

いきたい大学だけは譲れないが、入れれば、正直どこでもいい。今はよくわからないし、おいおい色々考えたい



Check Point

- ①「手に職がつくか」は資格が取得できるかどうかのイメージで決めていないか？
- ②「いきたい大学が強いかな」とはどういう判断基準でどう評価したのか？ そもそも強いとは？
- ③「いきたい大学が強いかな」に点数にばらつきがないが、なぜか？
- ④ 4つの選択肢には文系以外の共通点がないが、何を重要視して4つを選んだのか？

Advice

- 家からの距離については、キャンパスが学年ごとに変わる学校があるため、調査するようアドバイスする
- 入試難易度については、入試方式によって得意科目が活かせることもあるので、調査するようアドバイスする
- 保護者の影響で早い段階で私立大学に絞っているが、バランスの取れた実力のある生徒なので、国公立大学の可能性を検討させる
- 部活動と勉強のバランスを今後どうするか、検討するようにアドバイスする

アドバイス後

	判断基準				総合点	
	手に職がつくか	好奇心が 持てるか (ワクワク)	家からの距離	得意(数学) が活かせる 入試か		
重み付け	★★★★★	★★★☆☆	★★☆☆☆	★★☆☆☆		
選 択 肢	心理学	2 10	3 9	2 4	3 6	29
	国際関係学	4 20	4 12	1 2	2 4	38
	法学	3 15	1 3	3 6	2 4	28
	総合政策	2 10	5 15	5 10	5 10	45
	データサイ エンス	4 20	4 12	1 2	4 8	42

MEMO

某公立大学に新設されるデータサイエンス学部に関心がある。新しいものにワクワクする

After Story

アドバイスを受けて、大学を選ぶ前に自分が関心のあることを探しはじめた。見つけたのはデータサイエンスという学際的な領域。手に職もつきそうで、得意な数学を活かすことができそう。しかも、地元の公立大学に今度新設されるらしい。また、数学を活かすという意味で、憧れの大学の総合政策学部も背伸びして選択肢に入れてみたい。何より、進路を選ぶための軸が大学名以外にも少し見えてきた。

現役で高みを目指すなら、中1から掛け持ちしている部活動はどちらかやめたほうがいいかもしれない。さっそく、今回習った意思決定の方法を応用して考えてみることにする。